

ねらい

- ・安心して半日入学に参加し、入学への期待を膨らませる(子ども)
- ・子どもが自ら遊ぶ姿を観察し、一人一人の子どもの個性を知り、クラス分けなどの参考にする(教師)

ポイントと
幼児期とのつながり

- ・受付を済ませ、各遊びのコーナーに来た園児から好きな遊びを選ぶように場を設定。
- ・前半は自由遊びの時間、後半は10人程度のグループに分かれ、教室に入って過ごす。

実践内容

えほんコーナー



この絵本、幼稚園にもあるよ。

おりがみランド



どうやって折るのか教えて。

ブロックコーナー



一緒に遊ぼう みんなで何かつくれそう。

就学前施設と同じ環境が安心感の基盤

遊びを通して周りの子どもたち同士で関わる

お絵かきランド



お絵かきの次は何して遊ぼうかな

自分で選べる遊び

教室で



「はいー!」

小学校ではみんなの名前を「〇〇さん」と呼びますよ。
「□□さん!」

取組を振り返って

就学前施設と似た環境を用意することで、小学校の施設に緊張感をもって来た子どもたちが、自分の遊びたいところへ行き、スムーズに遊び始める様子が見られた。遊びの中で、自然と子ども同士が関わったり、会話をしたりする姿も見られ、安心して過ごしていることがうかがえた。そのような自然な子どもの姿を観察でき、入学後の児童理解につながった。後半は少人数で教室に入り、先生の呼びかけに返事をしたり、みんなで手遊びをしたりして、小学生になった気分を味わうなど、入学への期待につながったと思われる。

今までの経験と同じようなことに取り組み、自然と子どもの思いや考えを出せる環境や、傍に先生がいること、今、関わってくれる先生がわかることで安心し、子どもの小学校への緊張感や抵抗感が軽減され、小学校は楽しいところというイメージになり、そのような思いを子どもと共に実感した。保護者からは小学校が温かく迎えてくれたという感想も聞かれた。